

#



## 安全力を身につけよう



子どもを犯罪から守るためには、保護者が目を離さないことが基本です。小学校に入学すれば、1人での登下校が始まるケースもあります。身を守るための基礎を、今から親子で身に付けておきましょう！

**こんな場面・場所の注意！！** → 犯罪が起きるのは、普段の生活の中にもあります

- ショッピングモール・・・人目が多いので安心しがちですが、人が集まる場所では周りに気をとられ、他人への関心が薄くなります。また、不審者を保護者と勘違いして、周囲が見逃してしまうこともあります。
- イベント会場・・・親子イベントなど、「子どもが集まる場所」をねらっている不審者もいます。特に、誰でも自由に参加できる場合は、参加者が親子連れだけではない可能性もあります。
- 駐車場・駐輪場・・・自転車や車が沢山停まっていると、陰になり、目が届かなくなります。外出先ではもちろん、集合住宅の駐輪場や駐車場でも、子どもから目を離さないようにしましょう。
- 近所の公園・自宅の周辺・・・植え込みや遊具の陰など死角の多い場所です。様々な人が利用するので不審者も見分けにくいです。自宅の近くは最も心にすきが生まれやすい場所の1つ。

集合住宅であっても意外と人が少ないことが多いのです。



**1人になりやすい場所に注意！** → 近年では犯罪が多様化し、この場所が危険！と一概に言う事は難しくなっています。【子どもが1人になりやすい場所や場面】は要注意です。子どもは危険に出会ってしまったら、自分で対処するのが難しく、困ったことがあった時、周囲の助けが必要です。賑やかな場所でも、**1人になる瞬間**があります。1歩外に出たら気をつける習慣が大切です。不審者は見た目では分かりません。見た目ではなく、言動や態度で判断する癖をつけ、どんな人が危険か子どもに具体的に伝えていきましょう。

**安全力をつける習慣！** → 犯罪から身を守る力は、普段の生活の中で高めることができます。

- ① 積極的にあいさつしよう
- ② 町を歩くときは観察するくせを付けよう
- ③ なんでも話せる環境作り
- ④ 簡単な言葉で繰り返し安全確認
- ⑤ 身近なピンチから考えよう
- ⑥ 動きやすく、周りがよく見える格好を
- ⑦ 機会を見て、大きな声を出そう



### 安全力を伸ばす『感覚遊び』

- 距離感覚UP！新聞棒ゲーム・・・新聞紙を丸めた棒で、人と接するときの適切な距離感を覚えます。
- 逃げる力UP！歩き鬼ごっこ・・・新聞棒ゲームで安全な距離感をつかんだら、動いたり会話をしたりしながら、その距離を保つ練習もしましょう
- 良く見る力、良く聞く力UP！だるまさんがころんだ・・・鬼は子どもがやりましょう
- 伝える力UP！ジェスチャーゲーム・・・お題を決めて、ジェスチャーだけで相手に伝えます

### 幼児の防犯に大切な「予防力」

犯罪の被害に遭わないための「安全力」には、危険な時すぐに逃げたり、ピンチを伝えたりする「対処力」と危険を寄せ付けない「予防力」があります。「対処力」の弱い幼児には「予防力」が大切。周囲を『良く見る』こと、物音を『良く聞く』ことで、危険を早めに察知して遠ざけることが基本です。また、親子や地域の人とつながりも犯罪を防ぐ力となります。これらは特別な力ではなく、日々のコミュニケーションの延長にあり、誰にでも備わっています。危険を避けるための知恵を、今のうちから少しずつ育てていきましょう。